

付録 C:MPO/MTP(WX4500 専用)

目次

第1章 概要	C-2
機器の設定 (SETUP)	C-2
ツール画面 (ローカル側)	C-3
ツール画面 (リモート側)	C-4
第2章 オートテストの設定および準備	C-5
テスト規格の変更	C-5
チャネル選択	C-6
ケーブル・メーカ設定	C-7
リファレンス設定	C-8
第3章 オートテストの実行	C-10
リモート側の設定	C-10
ローカル側の設定と結果表示	C-11
第4章 その他の機能	Č-12
パワーメータ	Č-12
エラーメッセージ	C-15



付録 C: MPO/MTP(WX4500 専用)

概要 - 機器の設定 (SETUP)

第1章 概要

機器の設定 (SETUP)

MPO/MTPのセットアップ画面には下記のような3画面があり、画面下段のナビゲーションタブで各画面が 表示できます。

・テスト設定画面

: オートテストを行う為のテスト規格、ケーブルタイプ、テスト結果保存時のファ イル名などの設定が行なえます。

- ・システム設定画面 : 日付/時
- ・機器情報画面
- : 日付/時刻、自動電源オフ、テスト結果のオートセーブなどの設定が行えます。

: 機器のシリアル No、ソフトウェアバージョン、校正年月日、接続されているテストアダプタの情報が表示されます。

0-21	ABC	10000		M ABC	10000	P-% ABC	
D)	ano, and all of the	Custom Limit 🕢	94	760110月1日 40-23-44	14/04/2014	口-加根	11 2014, 18:23
2 17.	上限値	1.50 dB	3	長さの単位	Meter (m) ►	21.01 SNo. :	pw20100457
	も選択機能	۲	•	フリープ状態までの時間(分)	10 ►	ソフトウェア Ver. :	6.0.5 9. https://doi.org/10.1012
6.	1911	Comparie MINE (A)	¢	自動電源断までの時間(分)	30 ►	秋正日 . 形 1-11種別:	MPO/MTP Power Meter
(9) 7-7	/ 6-7-7	Generic MMF		音響設定の内容	×.	モジュールSNo. : モジュール使用回数 :	MPRX-0008 17
	你"種別	мро-омз 🕣	•	うイセンスの言手を思情幸福	•		
לאב 📟	内名	Generic MPO 📀	B	初期設定状態を復元する	*		
A 7/1		UNSPECIFIED-FX 🔿		装置種別	Local >		
				疗れ結果の自動保存	No 🕨		
	14名の候補	Simple Labels 🔿	2.0	なチャスケリーンの校正	*		
📥 (*E3	業者名	Unspecified 🕥	L	言語の選択と設定	Japanese 🕨		



付録 C : MPO/MTP(WX4500 専用)

概要 - ツール画面 (ローカル側)

ツール画面 (ローカル側)

ローカル側のツール画面からワイヤーエキスパートを使用してトラブルシューティングを行えます。「基準 値設定」、「パワーメータ」、「ファイバマップ」の測定を行えます。







ツール画面 (リモート側)

リモート側のツール画面から MPO 光源をチャネル単位で有効(ON)/無効(OFF)の設定が可能です。



1条 850mm 9神の活性化						
•						
	11					
*神전 물목전	非活性化す 選択し、右	るには 下のす'のを外・				



付録 C: MPO/MTP(WX4500 専用)

オートテストの設定および準備 - テスト規格の変更

第2章 オートテストの設定および準備

テスト規格の変更

ローカル側のワイヤーエキスパートで設定を行います。

- 1. タッチレンズ『SETUP』をタッチします。
- 2. 『試験設定』(Navigation タブの左)をタッチして『規格』タッチします。
- 3. **『Custom Limit』**をタッチします。
- 4. 『ロス上限値』を入力後、『✔』をタッチします。





付録 C : MPO/MTP(WX4500 専用)

オートテストの設定および準備 - チャネル選択

チャネル選択

1. タッチレンズ『SETUP』をタッチします。

- 2. 『試験設定』(Navigation タブの左)をタッチして『チャネル選択機能』タッチします。
- 3. 測定対象チャネルを選択します。『チャネル番号ボタン』をタッチして有効/無効を設定します。
- 選択完了後、『✓』をタッチします。
 ※ 下記画面では、チャネル2を有効 → 無効に設定しています。

WP0F2Fの設定内容		チャ礼選択機能		FealilistR機能			
▶ 規格	Custom Limit 💿	チャネル		チャネル	-		
▶ □】上限值	1.50 dB	• 1	2		2		
于中和战争民根能	Θ	3	4	3	• 4		
Ď か-7°6+⊁-ħ	Generic MMF 💮	5					
ロライル"和18月	мро-омз 💮	7		7			
B:00%E	Generic MPO 💿	9		9			
9 46	UNSPECIFIED-FX 🕤	11	12	11	12		
] 外16名の候補	Simple Labels 🕥	た た礼を活性化する も礼兼号の後を下	いこは 「本加」カーキオ	た神を活性化す	- ろには かます		
作業者名	Unspecified 💿	ロスの上限値は選択 全てのチャネルに適用	アヤヘル番方のほう「をフシッフします。 ロスの上版値は選択された 全てのテャネルに適用されます。		なのたいなってを外がします。 なの上限値は選択された 全てのチャネルに適用されます。		



オートテストの設定および準備 - ケーブル・メーカ設定

ケーブル・メーカ設定

- 1. タッチレンズ『SETUP』をタッチします。
- 2. 『試験設定』(Navigation タブの左)をタッチして『チャネル選択機能』タッチします。
- 3. **『Generic MMF』**をタッチします。
- 4. 適合する『ケーブル・メーカ』をタッチします。

	C 10000	B-15-15 ABC	10000		ABC	16000
WP072H/DEB12		B1(0-3' L-X-3.		2-1	78-7-55	
▶ 規檔	Custom Limit 🕤	Genaric MMF		1	IPO-OM2	MM 12Ch
▶ □ス上限値	1.50 dB				IPO-OM3	MM-12Ch
	##£				IPO-OM4	MM-12Ch
6 7-7-4-7	Generic MMF 🕤	\Rightarrow				
₩₩₩₩ ₩ ₩₩₩	MPO-0M3 🕤					
😇 1277-E	Generic MPO 🕥	-		-		
(A) 941-	UNSPECIFIED FX 🕤					
1 51 第名のほ	Simple Labels 🕤					
🏜 作業者名	Unspecified 🕤	100				
	* (i)	5			5	



オートテストの設定および準備 - リファレンス設定

リファレンス設定

ワイヤーエキスパートでは、Type A, B, Cの3種類のリファレンス設定が可能です。試験状況に応じて対応 するリファレンス設定を実施してください。

<リモート側の設定>

リモート側(光源)はレーザの ON/OFF 設定を行います。尚、リファレンス設定を実行する場合はレーザを ON に設定して下さい。

- 1. 対応するリファレンスコードでリモート側とローカル側を接続します。
- 2. タッチレンズ『AUTOTEST』をタッチします。
- 3. 画面右下のアイコンで送信 ON/OFF の設定が可能です。



送信 ON

送信 OFF



付録 C:MPO/MTP(WX4500 専用)

オートテストの設定および準備 - リファレンス設定

<ローカル側の設定> 実際のリファレンス設定はローカル側から実施します。

- 1. オートテスト設定で規格、チャンネル選択、ケーブル・メーカを設定します。
- 2. タッチレンズ『TOOLS』をタッチして、『基準値設定』アイコンをタッチします。
- 3. 自動的にリファレンス設定が開始されます。



Psiber Data Pte. Ltd



オートテストの実行 - リモート側の設定

第3章 オートテストの実行

測定ボタンをタッチするだけで挿入損失(ロス)、極性(ファイバマップ)が数秒で測定できます。オートテス トを実施する前にリモート側とローカル側の設定を行ってください。

リモート側の設定

- 1. 対応するリファレンスコードを使用してリモート側とローカル側を接続します。
- タッチレンズ『AUTOTEST』をタッチします。
 ※ 画面右下のボタンで送信 ON/OFF が設定可能です。(測定中は送信 ON)





ローカル側の設定と結果表示

- 1. リモート側とローカル側の接続およびリモート側の送信設定(ON)を確認します。
- 2. タッチレンズ『AUTOTEST』をタッチします。測定が開始され、以下のように結果が表示されます。







その他の機能 - パワーメータ

第4章 その他の機能

パワーメータ

<リモート側の設定>

- 1. タッチレンズ『**TOOLS』**をタッチします。
- 2. MPO 光源の設定画面が表示されます。チャネル単位で発光/非発光が設定できます。





付録 C : MPO/MTP(WX4500 専用)

その他の機能 - パワーメータ

皮長		850nm		
标調の消	封性化			
		•		
チャネルを 毎号を	非活性化する 選択し 右口	うけま うったいかがり。	ь	
ш .у с.				-



クリックすると、全チャネル が非発光に設定されます。











その他の機能 - パワーメータ

<ローカル側の設定と結果表示>

- 1. タッチレンズ『**TOOLS』**をタッチします。
- 『パワーメータ』アイコンをタッチします。パワーメータとして測定が開始されます。 2.





<結果表示>







付録 C: MPO/MTP(WX4500 専用)

その他の機能 - エラーメッセージ

エラーメッセージ

<ローカル側とリモート側の測定モード不一致>

 リモート側で以下のエラーメッセージが表示された場合は、タッチレンズの『TOOLS』をタッチして リモート側をパワーメータモードに変更して下さい。 (ローカル側:パワーメータモード、リモート側:オートテストモード)

<エラーメッセージ>

<対処方法>





その他の機能 - エラーメッセージ

 リモート側で以下のエラーメッセージが表示された場合は、タッチレンズの『AUTOTEST』をタッチ してリモート側をオートテストモードに変更して下さい。 (ローカル側:オートテストモード、リモート側:パワーメータモード)



